

令和3年4月定例会会議録

(令和3年4月20日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 4 月定例会会議録

- 【開催日】 令和3年4月20日（火）
- 【場所】 八代市千丁支所2階 庁議室
- 【出席者】 北岡 博 教育長
富田 壽人 教育委員
松永 松喜 教育委員
水田 千春 教育委員
奥村 留美子 教育委員
- 【出席職員】 中 勇 二 教育部長
橋口 幸雄 教育部次長
福本 桂三 教育部次長
松川 由美 教育部理事兼教育政策課長
高嶋 宏幸 学校教育課長
竹下 圭一郎 教育施設課長
田中 智樹 教育部理事兼生涯学習課長
入佐 正夫 教育サポートセンター所長
松村 哲治 博物館未来の森ミュージアム副館長
- 【事務局】 草野 弥生 教育政策課教育政策係長
西村 妙子 教育政策課参事
- 【審議事項】 <報告案件>
①報告第7号 令和3年度教育部組織目標について
②報告第8号 臨時代理報告・八代市教育委員会職員の人事異動について
③報告第9号 八代市童話発表大会の終了について
- <追加議案案件>
①八市教委議第3号 八代市いじめ防止等対策委員会委員の委嘱について
②八市教委議第4号 八代市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について
1. 開会 (午後1時58分 開会)
2. 会議録の承認 令和3年2月定例会、2月臨時会、3月臨時会

3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

4. 議題
〈報告第7号〉 令和3年度教育部組織目標について

中教育部長

資料により説明

組織目標は、第2次八代市総合計画、第2期八代市教育振興基本計画、第2期総合戦略に基づいて、次代を担う子供の育成と社会全体の教育力の向上並びに充実した生涯学習環境の提供を目指すとしている。

重点施策は、3月に策定された第2期総合戦略に掲げてある施策を中心に学校教育から社会教育まで網羅した次の5つの目標を設定している。

目標1 1人1台のタブレットPCを活用した新たな時代を豊かに生きる力の育成

目標2 子供の生きる力を育成する学校・園教育の充実

目標3 安全・安心で快適な教育環境の整備

目標4 地域と学校の連携・協働の推進

目標5 生涯を通じた学びの場の提供

これらの5つの目標を設定し、市長・副市長・教育長に確認をいただいている。

松永教育委員

教職員のICT活用に関する研修支援の中で、推進モデル校1校、推進校5校とあるのは、どこの学校のことか。

高嶋学校教育課長

推進モデル校は有佐小学校、推進校は植柳小・八千把小・東陽小・第四中・第五中の5校である。

奥村教育委員

子供たち全員にタブレットが配付された。教職員用を含めて、10,731台となるとあるが、これは全教職員分ということか。

松川教育部理事兼
教育政策課長

児童生徒と教職員用を含めてトータルで10,731台である。

奥村教育委員

3月定例会の中で子供たち全員に配付がある、総合教育会議でも市長から今後先生たちに向けても配付するとの話があった。3月定例会の会議で、今後、適切な調査をしながらタブレットの配置を考えるとのことだった。子供たちがタブレット

を適正に、効果的に活用できるために、まずは、先生たちの指導性が適切でないと正しく活用できない部分も大きい。そのために先生たちも全員ができれば持っていたほうがいい。ただ単に、リテラシー、機器を使う能力を身に付けるだけでなく、いかに効果的に活用して、子供たちに主体的な学びを身につけさせていくかが期待されているので、扱えるようになって、毎日の授業で効果的に使われているかなど、これからのものを身に付けると同時にこれからを検証していくのは、学校の先生であって、校内研修の場であると思う。その際に学校の中の気持ちの温度差、八代市内の温度差が出ないように、市がこういう気持ちだから、タブレットを有効活用してほしいと示すことが大事である。子供たちに配付し、管理職も含めて、または、せめて教諭全員に配付されれば、八代市は子供たちだけでなく先生たちにも配付してくれると心が豊かになる。たいていの先生たちは自分のタブレットを持っていると思うが、そのことと、日々子供が手にするタブレットを手にするというのは少し違うので、贅沢を希望するのではなく、できたら10,731台の中に全職員の数が入っていたら、学校はありがたい。

松川教育部理事兼
教育政策課長

10,731台の内訳は、児童生徒用と職員室にある校務用のノートパソコンと3年度に整備する教室用の437台である。先生たちが手持ちで教室を回っていくというタブレットは今のところはまだ整備できていない状況である。先生たちの現場のニーズがどうかを把握しつつ財政に要求していきたいと考えている。

奥村教育委員

学校教育課と強い連携の下にやっていただきたい。ニーズをどう把握するかであるが、お金がないなら、辛抱して自分のタブレットを使うとか、配付がないならそこそこでいいんだとか、今まで活用していたが、違う学校に行くと配付がない、使用していない部署にいて、次の年に使用する部署に行くと、先生たち自身の機器活用能力も、内容的な活用意欲も十分なものとして継続しないと思う。財政課はお金がないと言われるのか。

北岡教育長

リースの部分との関係をわかりやすく説明してもらっていか。

松川教育部理事兼
教育政策課長

授業支援用ソフトを使用するための教室据置き用と先生の手持ちで席を回っていく用にタブレット型2台の要求をした。

教育委員会としてはそれが理想的な形という認識を持っている。学校教育課からも校長・園長会議などいろいろな会議の場で再三使わなくてもどうかなるんだという考えを捨ててもらおうよう訴えてもらっている。また校長から各先生方にも言っていただくようにも言ってもらい、現場も取り組んでいただいている。どんどん声を上げていただいて、財政サイドに訴えていきたいと思う。

奥村教育委員 先生たちはないならないで、辛抱しておく。手を抜くのではなく他の手立てをするが、タブレット活用が子供たちのためになくはないものという立場でいくなら、まず先生たちが内容も機能も十分語りつくして、それからつつい不要ないところに入っていきそうな部分についてもその辺のモラルも一緒に育てていきたいというのがあるので、ぜひ教育政策課、学校教育課でタッグを組んでよろしくお願いします。

北岡教育長 活用の促進の部分については、補足をしてほしい。

高嶋学校教育課長 校長連絡会でも伝えている。ICTということで「いつでもちょっと使う」という合言葉を作り、今年度はたくさん使うことによって効果的な指導方法を見出していこうと会議のたびに伝えている。また、推進校の取組を集めて、使い方・活用の仕方を広めることで、活用を広げていきたいと考えている。

北岡教育長 今年度は、学校訪問を例年の形に戻そうと考えている。学校訪問の際にもタブレットの活用状況について確認したり、話を聞いたりしていこうと思う。

奥村教育委員 先ほど、以前からの機種も合わせてとあったが、以前からの機種というのは、新しいものと古いものがあるという意味だと思うが、古いものというのは、教室設置の先生たち用なのか。子供たちのタブレットは全部新しいものなのか。

松川教育部理事兼教育政策課長 子供たちのタブレットは、全部新しいものではない。令和2年度にGIGAスクール構想で国が一斉に動いて1人1台整備をした。それまでは、国が交付税措置し、3人に1台ということだったが、一斉には整備できないので、学校を4グループに分けて、年次を変えて、5年リースにより整備してきた。八代市は、6.4人に1台しか整備できていなかったため、昨年度5年のリース期間を満了して入れ替えるべき分と1人1台

になっていない分を合わせて、7, 840台を整備した。5年のリース期間が満了していない旧型の9, 000台分は、子供たちには申し訳ないが、だれが使うか学校で決めてもらい使用してもらっている。今後リース期間が満了すれば、全部新しいものに入れ替わってしまう。

北岡教育長

一度に買い替えればいいかもしれないが、財政的な負担を考えると、リースの途中解約は料金が発生する。新しく購入する分と使わなくなった分まで経費がかかるのは、厳しいという状況があった。

奥村教育委員

同じ学年、同じ教室の中で新しいのを使っている子供たちと古いのを使っている子供たちが混在している可能性もある。その時は担任からそれなりの説明をしてもらえると思うが、指導上、新型ではできるが、旧型ではできないというような、機能的な差があり、担任が両方の場合を教えることが生じるというようなことがあるのか。それとも機種は旧型でも中身は同じで何も心配なく指導ができるのか。

松川教育部理事兼
教育政策課長

ソフト的な部分は、全部既存のものにも改めて入れなおして、同じ状況になっている。新型のほうは、大量に整備するものなので、国のスペックの基準が低く、既存のタブレットのほうが、機能的、スペック的にも高くなっている。そこをうまく学校で説明してある可能性はある。授業に支障はない。

奥村教育委員

そんな小さなことを言っている段階ではないかもしれないがせっかく進んでいるので、丁寧に行くと、使う子供たちも指導する先生たちも得心をしながら勉強がスムーズにできる。コロナがあるから、リモートのためのタブレットではないと思う。第一義的には、教室で行う授業その学習が、子供たちの主体的で対話的で深い学びに少しでも寄与するようなことなので、タブレットの充足状況でそれが思うようにいかなかったということがないようにと考えていた。

水田教育委員

我が子がタブレットを春休みに持ち帰り、使用していたが、楽しそうにしていた。また、今話のあった旧型だったが、中身は変わらないし、少し重いけどいいよと使っていた。

総合戦略の概要版に「誰一人として取り残さない…」ということが記載してあるので、できればこのタブレットをオンライン授業で、不登校の子がいつでも授業を受けられるような形に

していただきたい。コロナウイルス感染症の影響でオンライン授業になるかもしれないが、それ以外でも活用できるようにしておいてほしいと思う。そして、この総合戦略は、八代市だけでなく他県や都会にも発信されていくのかと考えた。Iターン、Uターンなど魅力的なことが書いてあるので、八代の人に知らせていてもどうしようもない。帰ってきたい人や、都会で苦しい思いをしている人に、八代に来て子育てしませんかと誰一人として取り残さない八代市としてやっていくとすばらしいのではと考えたがどうでしょうか。

中教育部長

今、言われたような気持ちでまち・ひと・しごとの総合戦略は策定されている。地元出身の子供が残るように、帰って来られるように、縁がない人でも惹きつけられるようにという魅力づくりの事業をまとめたところである。今から始めること、今までやっていたことをガラッと変えるようなことをメインとして集めている。言われたようにこれを情報発信していく相手方に伝わらないと意味がない。市長部局に窓口があるが、それぞれの分野でやっていくことになる。教育委員会もその中で取り組ませてもらいたい。

奥村教育委員

デジタル社会への対応の中で、スマートシティ構築というのがある。昨年度のタブレット活用を推進する上で、光回線について、令和3年度が東陽・泉で完了し、坂本地区は、令和4年度に完了するとのことだった。光回線がなくてもできる手立てはあるかもしれないが、光回線の設置がないことで、使用が思うようにいかない点は大きいと思う。令和4年度というのは当初の目的だったかもしれないので、そこを底上げして少しでも早く、未来を担う子供たちが今学習で使おうとしているところに整備の違いで、不備を被るような子供や家庭がなければと思う。SDGsでよく言われるキーワード誰一人取り残さないということが今日も随所であったので、そのキーワードのもとに可能であれば、ちょっと無理をしても坂本町も令和3年度中に、整備できればと思う。2つの学校は少人数になっていて、ないならないでも、頑張ると校長はおっしゃっているが、もし、市のほうで配慮がいただければいいかなと思う。

橋口教育部次長

坂本地区について、当初の予定では令和4年度だったのを災害があったので、早くしてほしいとNTT西日本に伝えてある。事業者はNTT西日本で、市は補助金を出しているという関係であり、市の意向ではどうしようもできない。強くお願いし

たが、前倒しで3年度というのにはできないとのことだったが、令和4年度の早い時期に光回線がつながるようにはしてもらえそうな感じだった。学校内については、イントラネットのため、光回線はなくても大丈夫だと思う。

奥村教育委員 子供が家で使って勉強することになった場合である。

橋口教育部次長 今は、遅い回線なので、動画になると厳しい。遅かったり、荒かったりする。インターネットは契約さえすれば、どこの家庭でも使うことができる。

富田教育委員 八代市が抱えている大きな問題は、学力と不登校が減らないという問題である。特別支援教育や生徒指導等の支援員が配置はされているが、効果がどれだけ上がってきたかわからない。各学校で具体的に示してもらったらいと思う。ただ配置しただけではもったいないといつも思っている。八代市の学力面、不登校生徒の減少など、具体的にこういうふうに変わってきたというのが出されたらもっといいかなと思っている。

高嶋学校教育課長 どのような効果があったかというのは、私たちも検証すべきだと考える。支援員が配置されたために不登校が何人減ったという数値的なものに結び付くかということ、どういう形で効果を検証できるかを検討していかないといけないと思ったところである。

富田教育委員 例えば、タブレットは1,000人に対し1,000台入れたら100%達成である。教育の場合は、子供たちの多様性が生まれてきて指導が難しくなっている。なぜ学力が落ちているのか、各学校で具体性を持たせないとそのまま変わらないままである。高校の授業をしていて、単語だけの答え、単語だけの発表という以前の状況が残っている。今までやってきた学びの向上が昔と変わらないというイメージを持つ。学校として具体的な取り組みができないかと思う。

〈報告第8号〉臨時代理報告・八代市教育委員会職員の人事異動について

松川教育部理事兼
教育政策課長 資料により説明

質問等なし

〈報告第9号〉八代市童話発表大会の終了について

田中教育部理事兼 生涯学習課長 熊本県立図書館長から令和元年度開催をもって、熊本県童話発表大会を終了するという通知を受けたため、本市においても県の方針に基づき、学校長会と相談の上八代市童話発表大会を終了することとした。市内の小中学校長・特別支援学校長にも通知済みである。

水田教育委員 童話発表会に一生懸命に親子で取り組む姿が見られて、親子のコミュニケーションにもつながっていたと思う。何を読むかから始まって、子供に一生懸命練習させるというコミュニケーションがあったと思うので、そういうのがなくなるのは残念だ。時代の流れもあるだろうが、発表が得意で、このときに輝く子供がいる。運動はわかりやすいが、文化系はなかなかみんなの前ですごいねと言われる輝ける場所が少ないので、先生方はわかっていらっしゃると思うがぜひ各学校でこれに代わるものを企画していただいたりするとありがたいと思った。

奥村教育委員 今、子供たちの側面ということで、保護者を代表しての話だったと思う。一番大事なのが本を手にする機会、本を手にするきっかけになるということである。学級担任として大会に臨むことで、子供たちが本を読むきっかけになった、自分も図書館というものの存在を認識するきっかけになったというところを見てきた。代わるものとしてハッピーブック運動というのも掲げてあるが、子供たちは教室での授業を終えたときに最後は1人になり、その時の学びは、社会からすると思う。1人学びができるようなきっかけを作ってくれるのも学校図書館である。そういった意味では大会が1つのきっかけにもなっていたと思うので、それに代わる機会なり認識なりを学校のほうでは考えていかないといけないと思う。

〈八市教委議第3号〉八代市いじめ防止等対策委員会委員の委嘱について

高嶋学校教育課長 現在委嘱している八代市いじめ防止等対策委員会委員の異動に伴い、補欠委員を委嘱する。

質問等なし

【議案第3号 承認】

〈八市教委議第4号〉八代市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について

高嶋学校教育課長 現在委嘱している八代市いじめ問題対策連絡協議会委員の異動に伴い、補欠委員を委嘱する。

質問等なし

【議案第4号 承認】

5. 連絡事項
- | | |
|------------|-------------------------|
| 学校教育課 | 学校訪問について |
| 教育サポートセンター | くま川教室開級式について、各種研修会について |
| 博物館 | 春季特別展覧会について |
| 事務局 | 5月定例会日程確認 (5/26 14:00～) |
6. 会議録署名委員の指名
- 奥村委員・水田委員
7. 閉会 (午後3時35分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

記録者
